

看護学専攻（修士）

試験科目：外国語（英語）

問題1. 以下の英文抄録を読んで設問に答えなさい。解答は全て次頁の解答用紙に日本語で記載してください。

設問1. 研究の目的について記載してください。

日本の文化社会に適応したアドバンスケアプランニングの定義と行動指針について合意形成を得ることである。

設問2. 誰を対象に実施したか記載してください。

医師30名、10名の医療・生命倫理研究者、6名の看護師、3名のケアマネジャー、3名の医療ソーシャルワーカー、3名の法律専門家、1名のチャプレン

設問3. 下線部①について和訳してください。

29項目が目標合意水準に達しており、項目評価の72%～96%が7～9の回答範囲であった。

設問4. 下線部②について和訳してください。

アドバンスケアプランニングは「個人が、信頼関係を築いた医療提供者の支援を必要に応じて受けながら、家族や身近な人々と共に、将来の生活様式や希望する医療・ケアを含む将来の備えについて考え、話し合うこと」と定義された。

設問5. この研究の意義について述べてください。

日本文化に適応した個々のアドバンスケアプランニングを支援することは、家族中心の意思決定文化を持つ日本や諸外国の類似する文化社会における普及と定着を促進しうる。

問題2. 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。解答は全て次頁の解答用紙に日本語で記載してください。

設問1. ①の文章で、この問題が人間の健康にどのように影響すると述べていますか。

気候変動は、熱波や極端な気象災害、洪水、山火事が増加した結果、さまざまな熱関連疾患、水系感染症、ベクターが媒介感染症、極端な気象イベントによる事故、メンタルヘルスの問題、大気汚染など、健康障害、疾病を引き起こす要因となっている。

設問2. ②の文章を和訳してください。

気候変動と健康のつながりに関する知識は医療専門職にとって不可欠であり、そのため看護教育に組み込まれるべきである。

設問3. ③の文章を和訳してください。

国際看護師協会（ICN, 2018）は、気候変動がもたらす課題に対応できるよう、医療システムが気候に強靱である必要性を認識しており、看護師がその備えを整えることを求めている。また、環境要因と健康とのつながりに対する認識を高めるために取り組んでいる。

設問4. ④の文書を和訳してください。

看護師は、廃棄物管理、リサイクル、再利用可能な看護資材の使用の促進や、気候変動への取り組みと環境の持続可能性の向上などを通じて、環境管理の推進者としても行動できる。また、世界各地ではオールド・ドミニオン大学やアフリカ・エア・レスキュー（AAR）ヘルスケアの“Trees for Health（T4H）”イニシアチブなど、看護師が植樹活動に参加する取り組みなどが行われ、環境保護と公衆衛生に対して多く貢献している。

設問5. ⑤では、この問題と看護教育についてどのように述べられていますか。

気候変動と健康のつながりは理解されているにもかかわらず、その知識は看護教育に体系的に組み込まれていないのが現状である。

看護学専攻（修士）

試験科目：専門科目（基礎看護学）

1. ケアリングについて説明し、看護教育におけるケアリングの必要性について、あなたの経験を踏まえて論じなさい。

ケアリング概念の概要が正しく示され、それを元に自分の経験を含めて看護教育との関係性が記述されていること

2. クリティカルシンキングを行う上で、重要と考える態度を3つあげて説明しなさい。また、そうした態度が、臨床上的意思決定において、どのような効果をもたらすかについて述べなさい。

「自信」「自立的な考え方」「公正さ」「責任と責務」「リスクを引き受ける意思」「規律」「忍耐力」「創造力」「好奇心」「統合性」「謙遜」のいずれかの態度をとりあげ、それらと意思決定のつながりが論じられていること

3. 次の用語について簡潔に説明しなさい。

1) 自己効力感

バンドューラが提唱した社会的学習理論に基づく用語である。ある行動について、「自分にはうまくできる」という、自分の能力への認知である。人の行動は、その行動をすればよい結果が得られるという「結果期待」と「自己効力感」がそろうことで喚起される。

2) SDM（共同意思決定）

患者と医師の両方が医学的な意思決定プロセスに貢献するプロセスのことを指す。SDMは、インフォームド・コンセントを土台にしつつ、患者の価値観を意思決定の中心に据えるという考え方である。

3) スタンダード・プリコーション

すべての患者に共通して適用する感染予防の基本原則である。厚生労働省によって、「汗を除くすべての血液・体液、分泌物、排泄物、創傷のある皮膚・粘膜は伝播しうる感染性微生物を含んでいる可能性がある」という原則に基づいて行われる標準的な予防策」と定義されている。

4) アルマ・アタ宣言

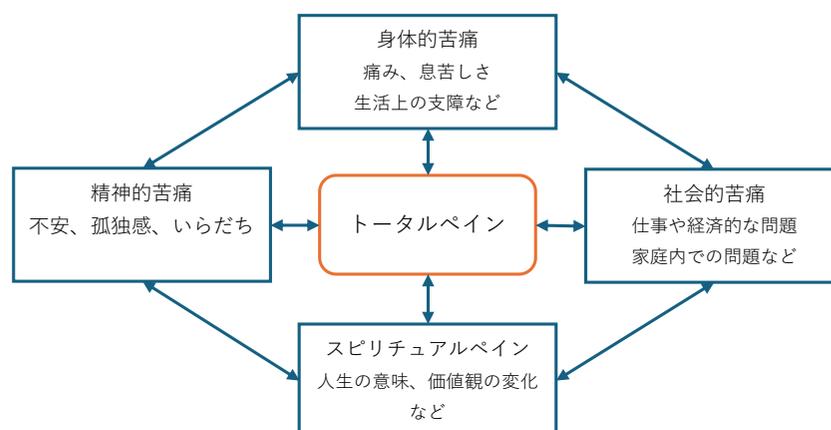
1978年にWHO（世界保健機関）とUNICEFが採択した「プライマリ・ヘルス・ケア（PHC）」の国際的な基本方針を示した文書である。「すべての人々に健康を」というスローガンのもと、健康が基本的人権であることが明言された。

看護学専攻（修士）

試験科目：専門科目（成人看護学）

1. 全人的苦痛（トータルペイン）とは、どのような概念か、図を用いて説明しなさい。

英国のDame Cicely Saundersが提唱した概念で、身体的な痛みに加えて、心理的な痛み、社会的な痛み、スピリチュアルな痛みの4つの要因が相互に関連し、統合された痛みのこと。



2. ACP（Advance Care Planning）の概要とACPにおける看護師の役割について、300字程度で説明しなさい。

ACPとは、患者自身が自分の価値観を認識し、今後の人生についてどう生きたいかを、患者が主体となって、その家族や近い人、医療・福祉・ケアの担い手と共に考えるプロセスのことである。看護師は、患者とパートナーの関係を築き、患者の持てる力を引き出しながら患者が主体的にACPに取り組むことができるよう支援する。また、その人が望む医療・ケアを受け、その人らしく生き抜くことができるように、繰り返し話し合いの機会を設け、意思決定を支える。

3. 米国の成人教育学者のマルカム・ノールズ（Malcom Knowles）が提唱したアンドラゴジー（成人の学習を援助する技術と科学）の特徴を、ペタゴジー（子どもを教育する技術と科学）と比較しながら述べなさい。

子どもは、周囲の大人の判断によって常に管理され保護される対象であり、自分で考えて行動する知識や経験が乏しいため、大人が子どもにとって重要だと考える知識や技術を発達段階に応じて教えることを受け取る受動的な学習者であり、将来の準備として学ぶことが多い。一方、成人は、年を重ねる中で得た知識や経験、確立したアイデンティティを基に自己決定性を持ち、実生活における課題や問題を解決するために、自ら学びたいことを決めて学ぶという能動的な学習者である。そのため、成人の学習では、内的誘因や好奇心に働きかける新しいことを学ぶための動機づけがより重要になる。

4. 医療系大学では、どのようなことを期待して模擬患者参加型教育を行っているか、説明しなさい。

模擬患者には、Simulated Patient（模擬患者）と Standardized Patient（標準模擬患者）の2種類があるが、Simulated Patientの場合は、学生の発言や行動がSPにどのような気持ちを引き起こしたか、信頼感や安心感を与えたかなど、SPの気持ちの動きを学生にフィードバックすることにより、学生に自

己の振り返りを行う機会を提供し、学生の対人能力、共感能力の育成、職業的アイデンティティ形成に貢献すること。リアリティによって、学生の情意・認知・技能を統合したパフォーマンスを促す機会を提供すること。学生の満足感や自己効力感の向上、学習意欲の向上を促すこと。など